

RIVIERA RESORT CLUB
Fish Derby 2025-2026
対象魚判別マニュアル

この度は「RIVIERA RESORT CLUB Fish Derby 2025-2026」にご参加いただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、大会を楽しむための完全ガイドです。

▼目次

P.3～4 エントリーのルール

<総全長で競う魚>

P.5～7 アジ部門

P.8～10 アマダイ部門

P.11～12 カワハギ部門

P.13～14 キス部門

P.15～17 マダイ部門

・釣期(魚種ごとのベストシーズン)

・釣り方のコツ(ポイント、釣り方)

・対象魚の見分け方

<ポイントマップ>

P.18 リビエラシーボニアマリーナ周辺マップ

P.19 リビエラ逗子マリーナ周辺マップ

このマニュアルを参考に、充実した釣りの時間をお過ごしください。

▼エントリールール

・エントリーする場合、計測のため最終帰港時間の **30 分前**までに帰港してください(帰港の連絡の際に、エントリーする旨お伝えください)

★帰港時の連絡先(1 番沖の航路ブイでお電話をお願いいたします)

リビエラリゾートクラブ事務局 0467-23-2458

★季節ごとの帰港時間

3 月 16 日(日)～6 月 15 日(日) **16:30**

6 月 16 日(月)～9 月 29 日(月) **17:00**

10 月 2 日(木)～11 月 15 日(土) **16:30**

11 月 16 日(日)～2026 年 3 月 15 日(日) **16:00**

<審査>

各部門 1 日につき1チーム 1 匹ずつエントリーできます

・総全長で競う 5 部門

アジ部門、アマダイ部門、カワハギ部門、キス部門、マダイ部門

※魚はマニュアルに記載されている魚種のみエントリー可能です

・特別部門

メイン 5 部門以外に釣れた自慢の 1 匹(サイズ、珍しさなど)をエントリー

※特別部門の審査基準は表彰式で発表します

<計測について>

1. 必ずマリーナスタッフ立会いの下、計測を行って下さい
※それ以外の計測でのエントリーは認められません
2. 全長の計測は魚の口先から尾の先端までとします
3. 全長はcm単位で小数第一位まで計測します
4. 計測後、記録のため写真撮影をさせていただきます
※撮影した写真は、釣果情報サイトへの掲載ならびに表彰式の際に使用させていただきます

<注意点>

1. ゴミの分別にご協力をお願いいたします
※釣り針は、手ぬぐいに包むなどして安全に回収できるようご協力をお願いいたします
2. 釣りをする際は、周囲の安全を確認しながら行ってください
3. 釣った魚は食べる分だけ持ち帰ってください

<神奈川県海面の遊漁ルール>

1. 根魚の活餌(餌虫を除く)釣りの自粛
2. 幼魚の漁獲禁止
3. キス釣り禁漁期は 9 月～12 月です(葉山町地先～湯河原町地先エリアのみ)
※9 月～12 月の期間は、葉山町地先～湯河原町地先エリアで釣ったキスのエントリーはできません(P.17～18)
4. 全長 20cm 以下のマダイは再放流してください(P.11～13)
※全長 20cm 以下のマダイは、エントリーできません

アジ部門

【対象魚 1 種】 マアジ



▼釣期

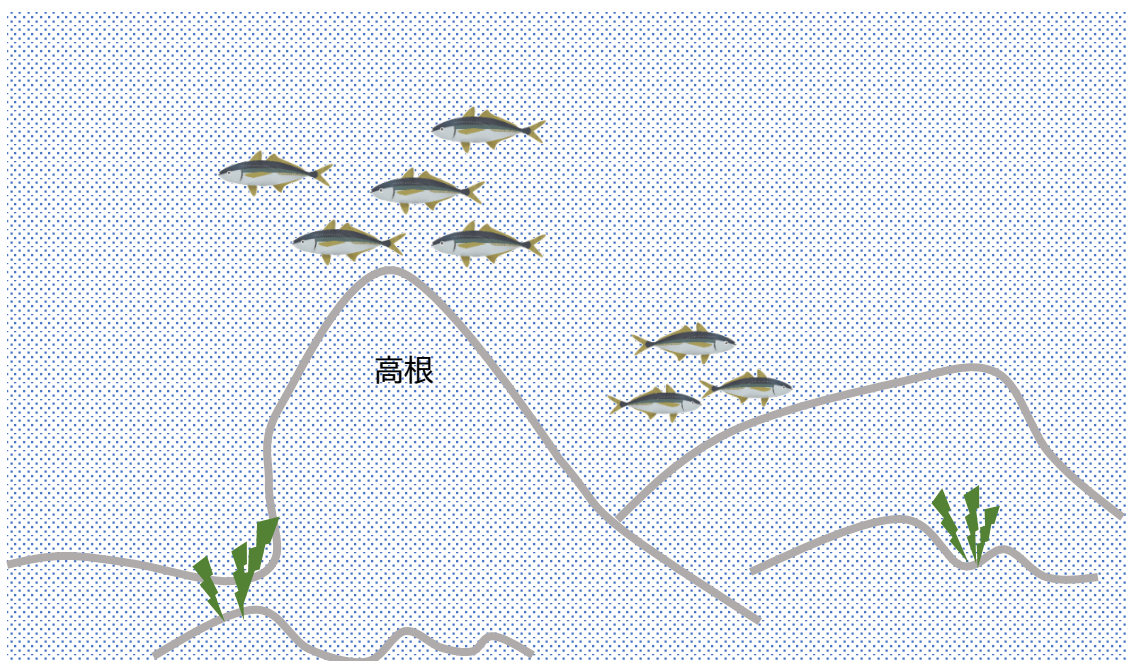
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					○	●	●	●	◎	○	△

●=旬、◎=最盛期、○=よく釣れる、△=釣れる、

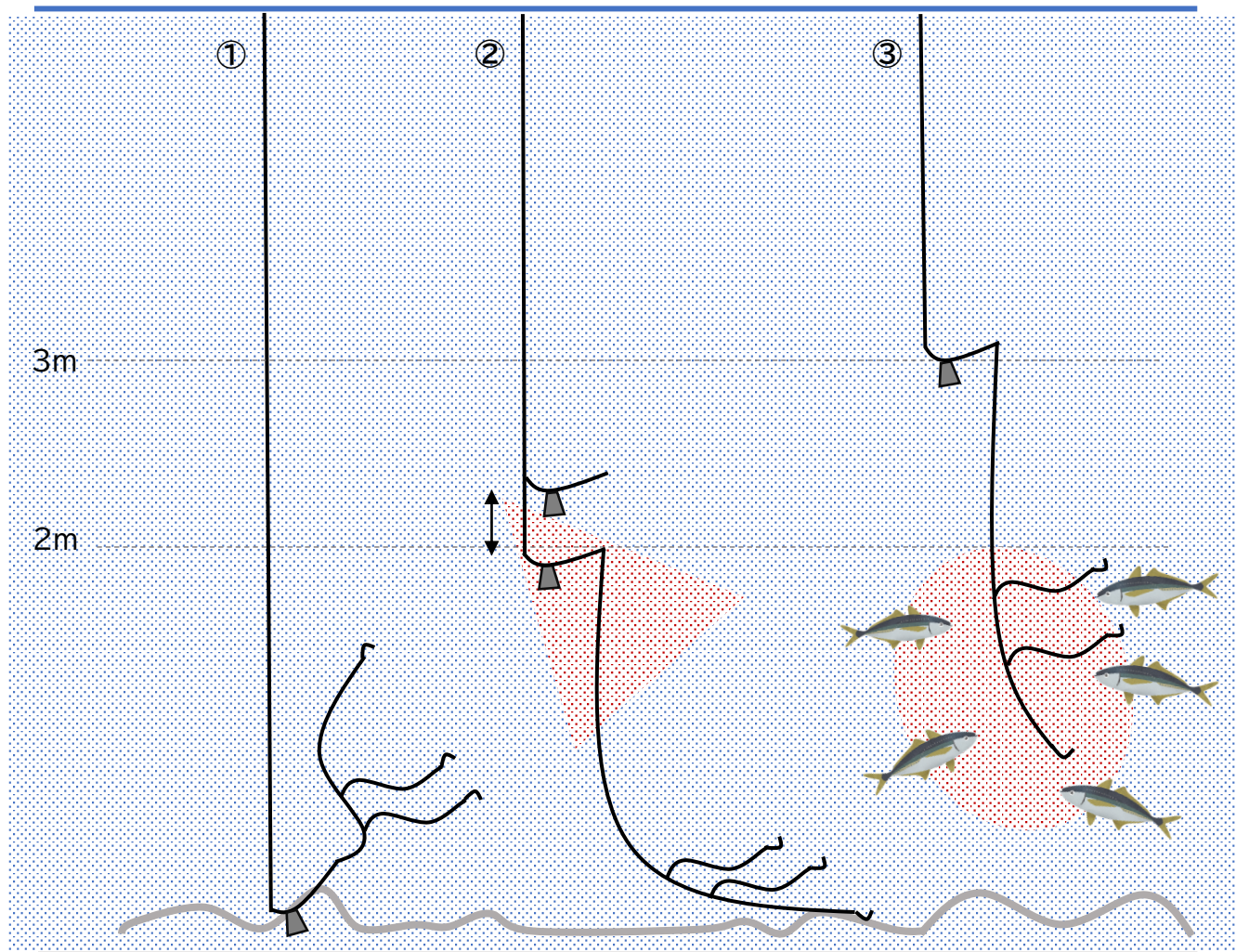
▼ポイント

水深 5～100m

- ・水温の温かい季節(6～10 月)は、岩礁帯、カケアガリ、高根の周りで釣れる
- ・水温が低下するとタナも下がり、深場の根回りに群れが固まるようになる(12 月～2月)



▼釣り方



- ① ビシが着底したらイトフケを取り、底ダチを取る
- ② 2～3m巻き上げて2～3度シャクリ、コマセを出す
- ③ 少し仕掛けを上げてコマセの煙幕がある中にハリを入れる
- ④ アタリがなければもう一度シャクリ、コマセを出して③を行う

<エサ> アミコマセ、オキアミ

<仕掛け> 天秤大、ビシカゴ、アジ仕掛け

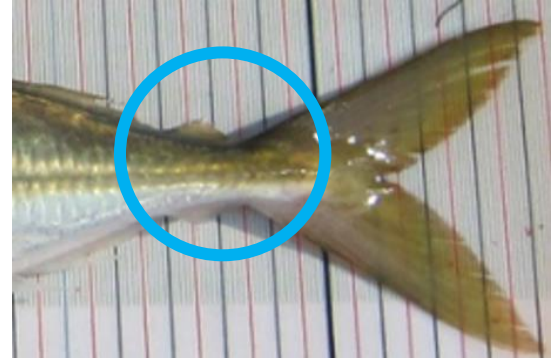
▼見分け方[マアジ、マルアジ(対象外)]

①小離鰭(しょうりき)＝一般に背ビレと尾ビレの間にある小さなヒレ

マアジ:なし

マルアジ:あり

マルアジ(小離鰭)

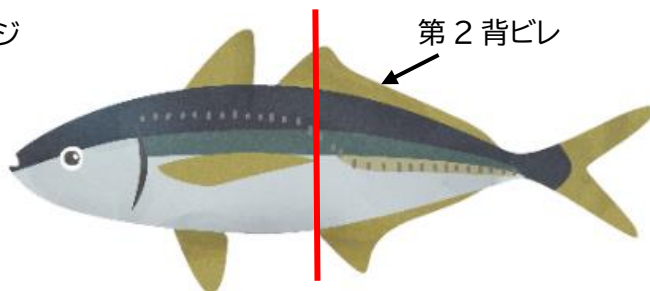


②胸ビレの位置

マアジ:胸ビレが長く、第2背ビレを超える

マルアジ:第2背ビレを超える

マアジ



③側線のカーブ・ゼイゴ(尾のあたりにあるトゲ状のうろこ)

マアジ:胸ビレの先端より前で急カーブする

ゼイゴは側線全体にある



マルアジ:胸ビレより後方で緩やかにカーブする

ゼイゴは側線の直線部後方のみ



アマダイ部門

【対象魚 2 種】 アカアマダイ、シロアマダイ

アカアマダイ



シロアマダイ



▼釣期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
●	○	○				△	△	○	◎	◎	●

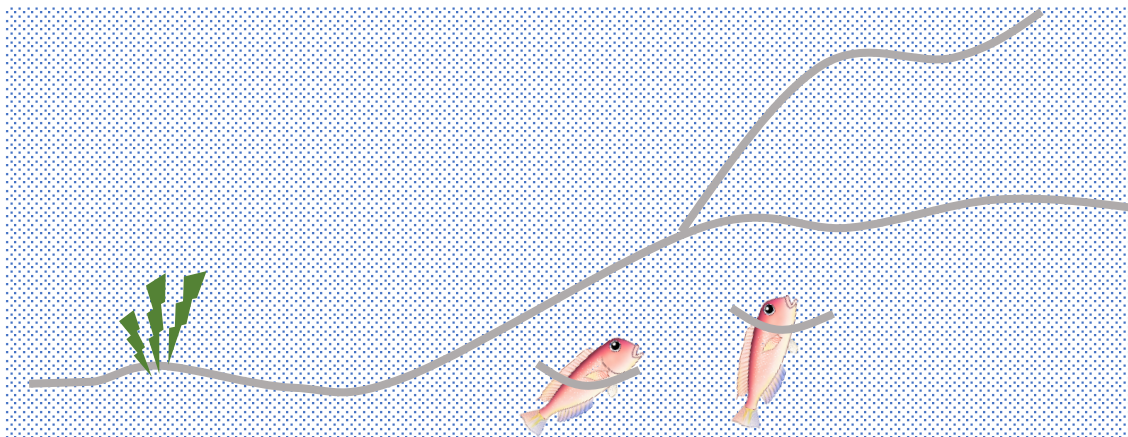
●=旬、◎=最盛期、○=よく釣れる、△=釣れる

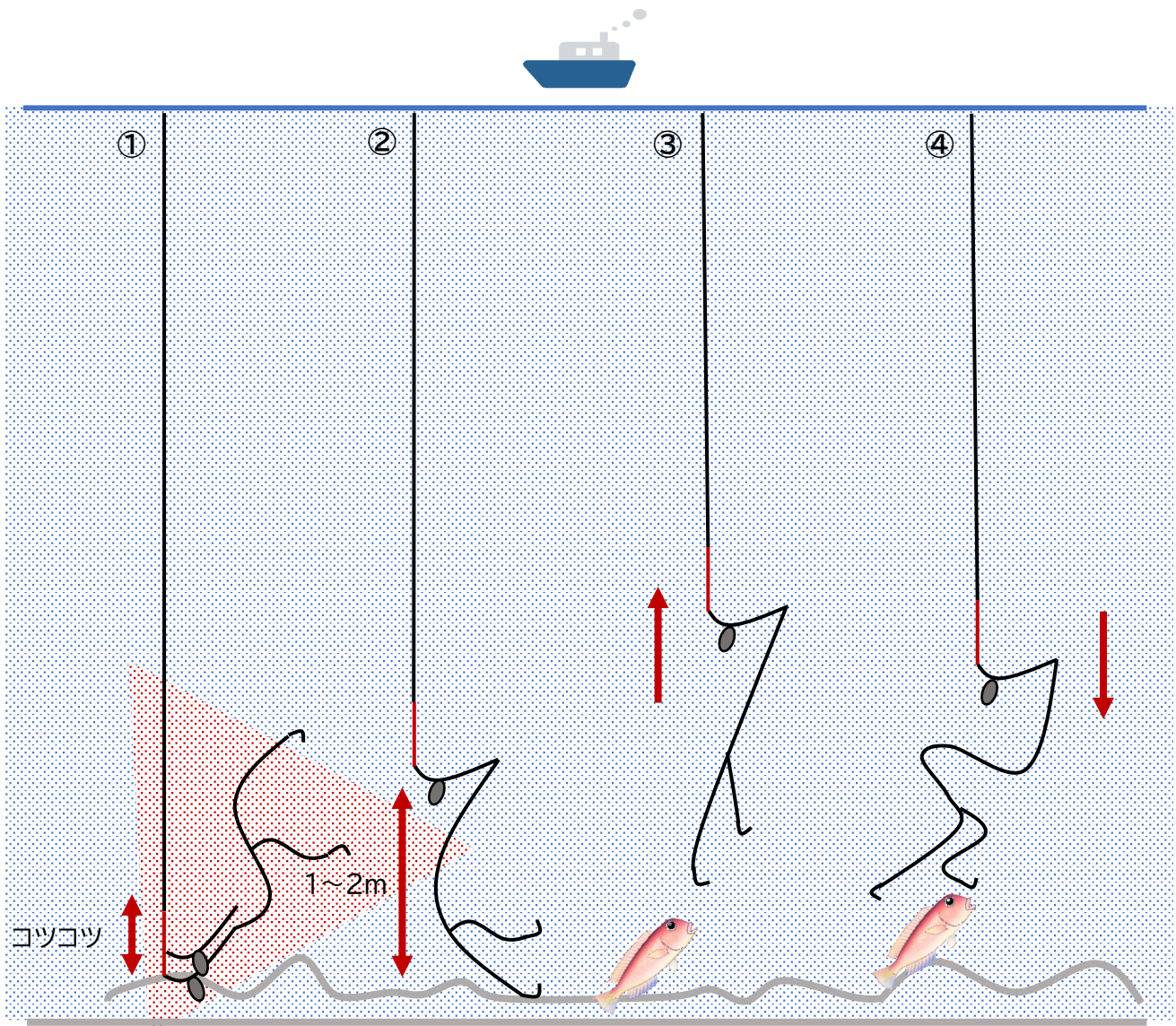
▼ポイント

水深 30～100m

砂泥地のカケアガリ(穴を掘って隠れる習性がある)、岩礁帯周辺の砂地

- ・タナが低いと釣れる外道:カンゾウヒラメ、カナガシラ、トラギス
- ・タナが高いと釣れる外道:レンコダイ、カイワリ
- ・タナが合っていると釣れる外道:ヒメコダイ、イトヨリダイ





- ① オモリを着底させて、ミチイトを張りオモリで海底を 5 回くらい小突いて砂煙を上げてエサの存在をアピールする
- ② ハリスの長さの半分から全長分のリールを巻く(エサの位置を海底スレスレにする)
- ③ 誘う、アマダイは動くエサに反応する(上からユラユラ落ちてくるエサ)
- ④ アマダイのアタリは、グングン、グンと竿先を引き込むように明確に出る
アタリがきたら、ゆっくりと引き上げてハリ掛かりを確認し、中低速で巻き上げる

<エサ> オキアミ

<仕掛け> 天秤大、クッションゴム、オモリ、アマダイ仕掛け

▼見分け方[アカアマダイ、シロアマダイ、キアマダイ(対象外)]

①目の大きさ

アカ:大きい、瞳孔の周りが銀色

シロ:小さい 同行の周りが金色

キ:大きい、瞳孔の周りが青っぽい



アカアマダイ



シロアマダイ



キアマダイ

②頭部

アカ:目の斜め下にある白色斑が特徴

シロ:頬にウロコがある

キ:目の下の白線が特徴



アカアマダイ



シロアマダイ



キアマダイ

③尾ビレ

アカ:黄色の線が 5～6 本、下部は無斑

シロ:模様は複雑で、上端が白い

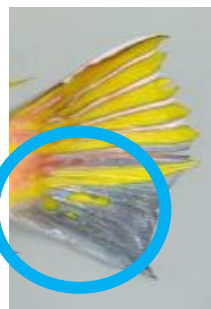
キ:黄色い線が太い、下部に黄色の斑点あり



アカアマダイ



シロアマダイ



キアマダイ

【対象魚 1 種】 カワハギ



▼釣期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
△	△			△	△	△	○	◎	◎	◎	○

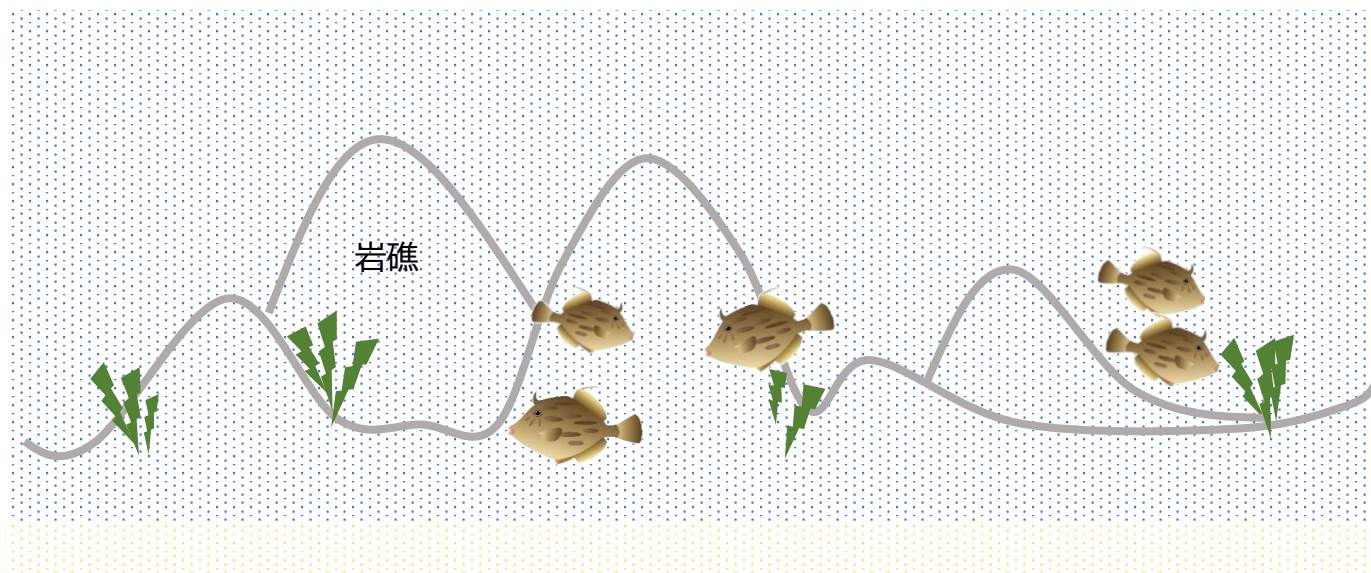
●=旬、◎=最盛期、○=よく釣れる、△=釣れる

▼ポイント

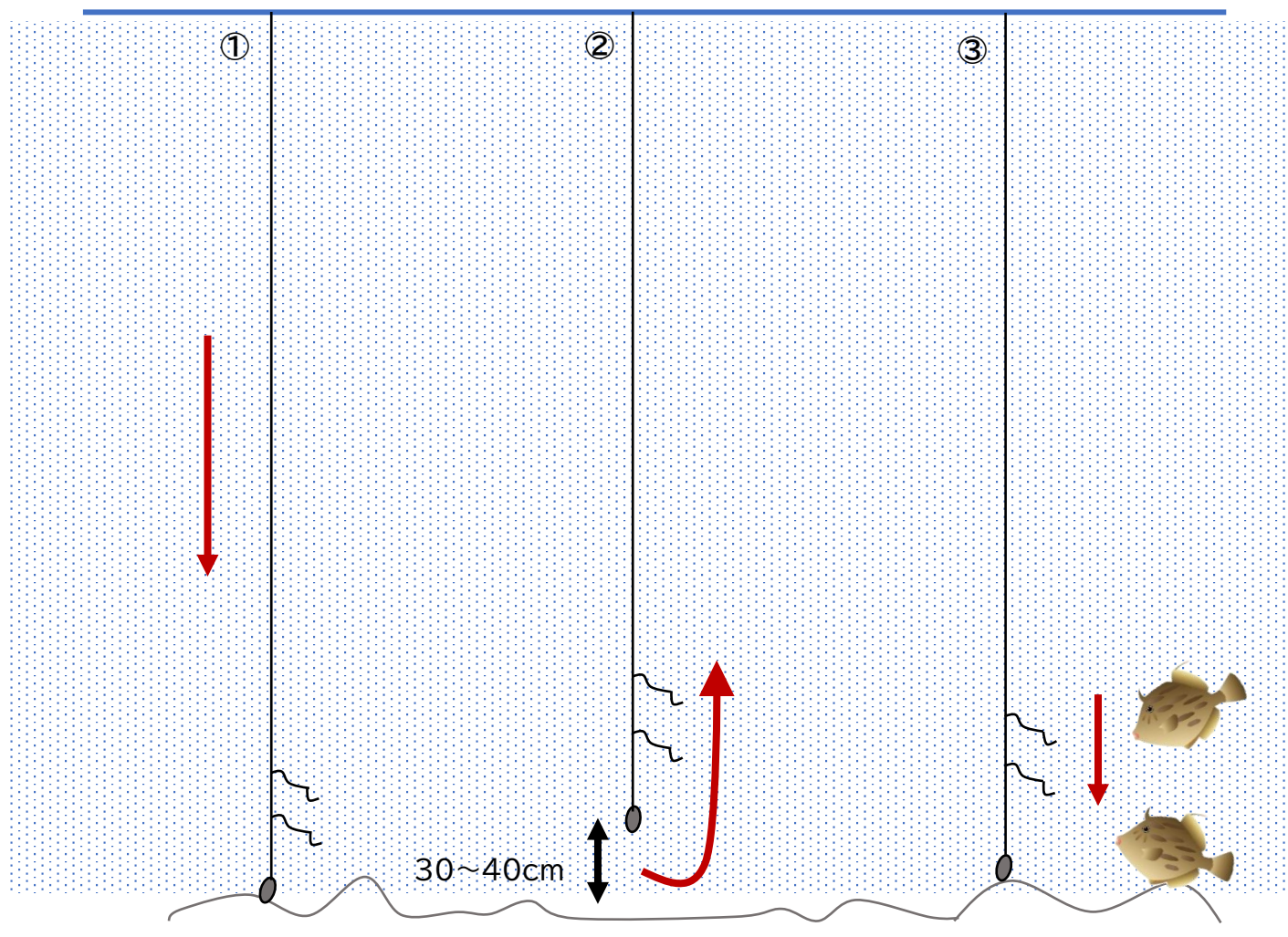
水深 5～50m

根周りの岩礁帯、砂地

- ・水温が高い時期:水深が浅い場所に単独または 2～3 匹で行動している
- ・水温が低い時期:水深 30 メートルぐらいで岩礁帯付近が狙い目
- ・外道:カサゴ、ベラ、フグ(キタマクラ)



▼釣り方



- ① オモリを着底させる、着底と同時にミチイトを張る
- ② アタリが分かりやすいように、竿先を 30~40cm 上げる
- ③ すぐにオモリを着底させて、②を繰り返す

<エサ>アサリ

<仕掛け>カワハギ仕掛け、オモリ

【対象魚 1 種】 シロギス



▼釣期

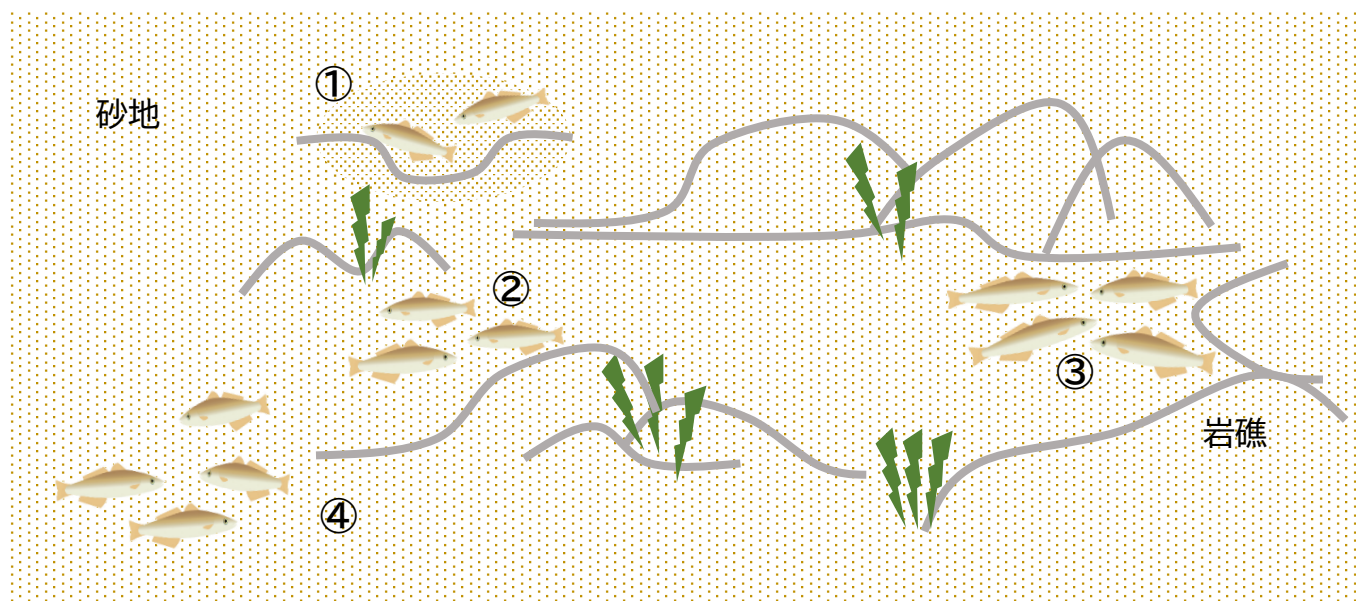
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		△	○	●	●	◎	○	○	○	△	△

●=旬、◎=最盛期、○=よく釣れる、△=釣れる

▼ポイント

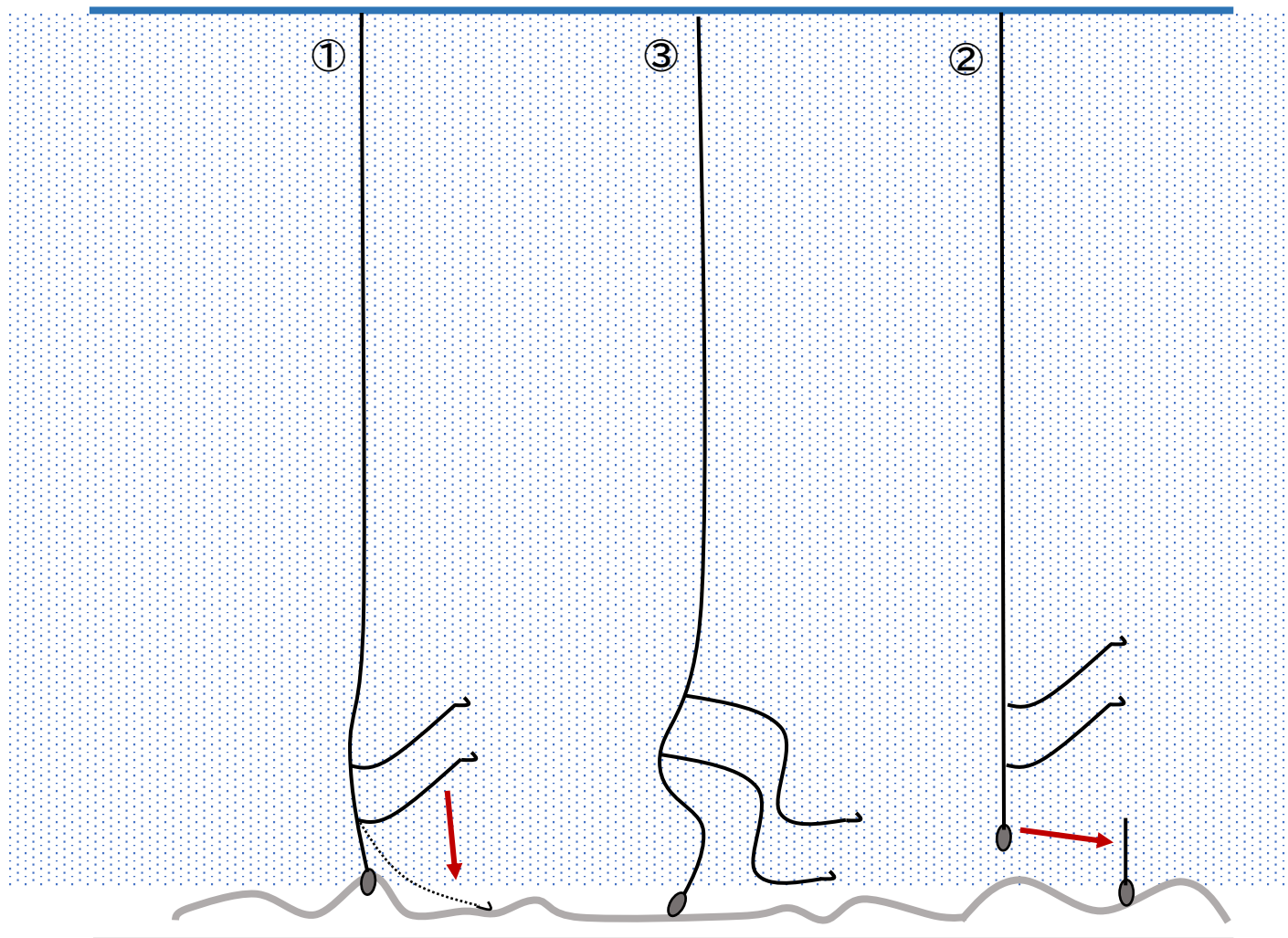
水深 5～25m

砂泥地、砂地



- ① 海底のへこみ
- ② カケアガリ(狙いやすい)
- ③ 岩礁に囲まれた砂地
- ④ 平根の点する砂地(大物が釣れる)
- ⑤ 岩礁に囲まれた砂地

▼釣り方



- ① オモリ着底後、糸を少し軽く張って 10 秒～20 秒待つ(ハリスが着底するのを待つイメージ)
- ② アタリがなければ、オモリを少し動くように竿を軽くシャクる(ハリスを動かすイメージ)
- ③ ②でアタリがなければ、オモリを浮かせて場所を移動し①～③を繰り返す

<エサ>ジャリメ

<仕掛け>胴突キス仕掛け、オモリ

<神奈川県海面の遊漁ルール>

全長 20cm 以下のマダイは再放流してください
※全長 20cm 以下のマダイは、エントリーできません

マダイ部門

【対象魚 1 種】 マダイ



▼釣期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			△	●	●	○	○	◎	◎	△	△

●=旬、◎=最盛期、○=よく釣れる、△=釣れる

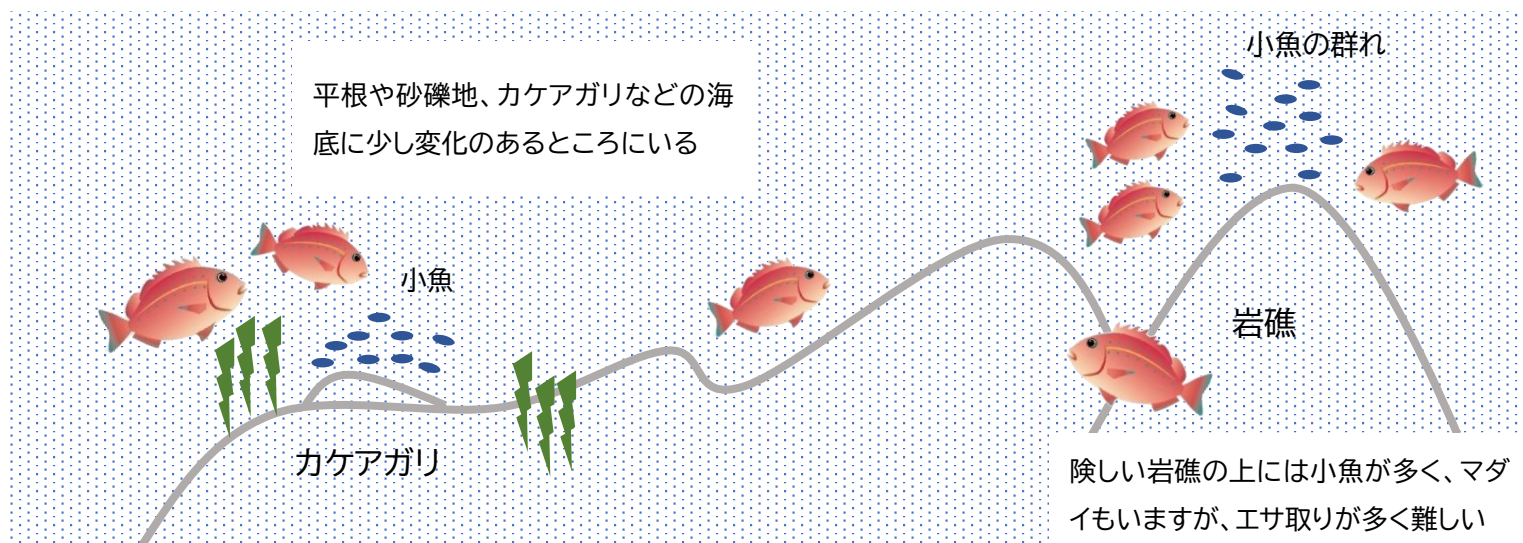
▼ポイント

水深 15～200m

岩礁帯、砂地、砂礫帯

- ・水温が高い時期:水深 15～60m
- ・水温が低い時期:水深 60～100m

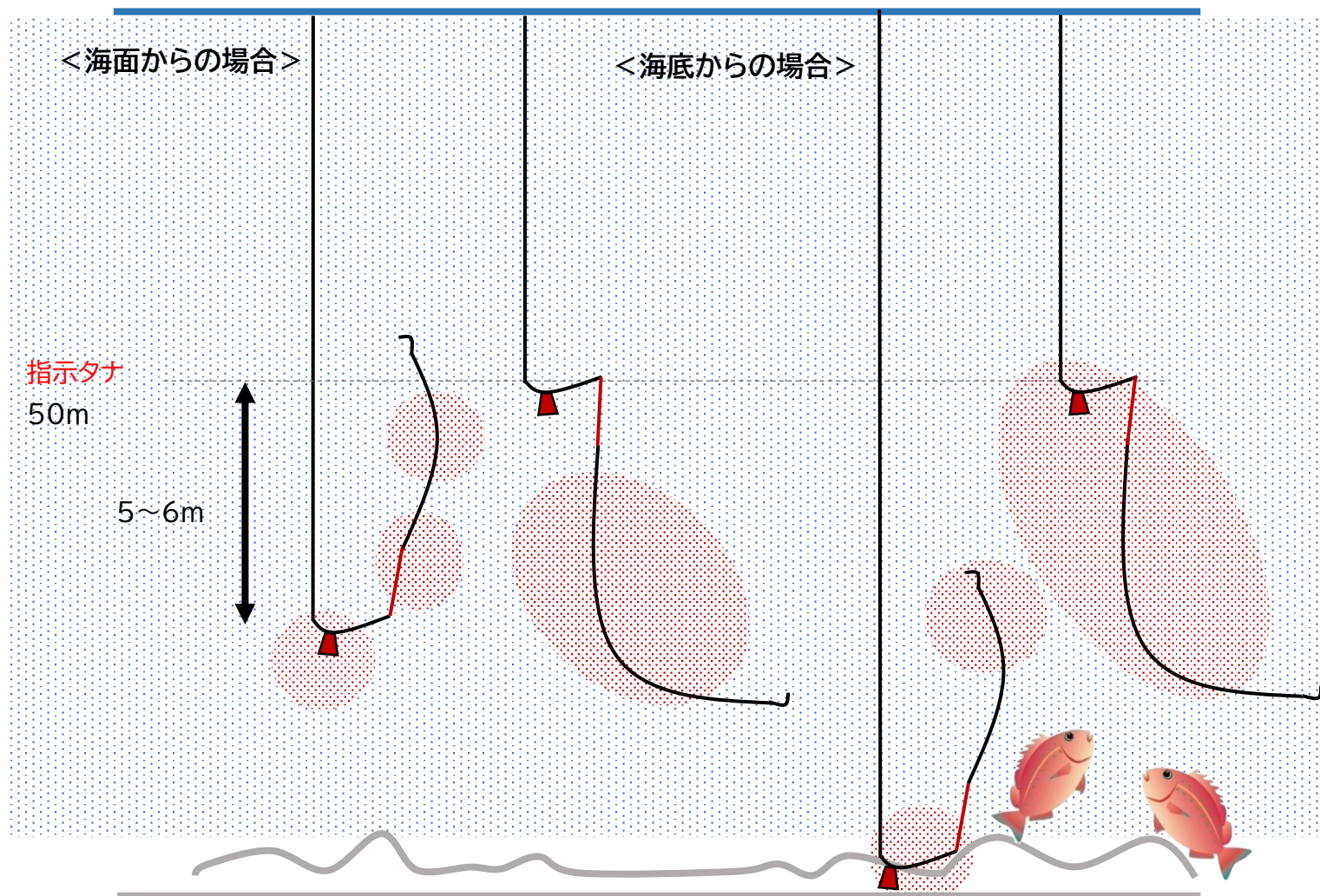
★春～初夏の産卵期には中～大型のマダイが浅い岩礁域に集まる＝乗っ込み



▼釣り方
<タナの取り方>



指示タナ＝マダイを釣るときにコマセカゴをおろしてコマセを撒く位置
船内でタナを合わせることでマダイを寄せて、皆が釣れやすくなる



① 海面からの場合

指示タナより5~6mプラスでコマセカゴをおろす。指示タナまで巻き上げながら2~3回に分けて撒く

② 海底からの場合

コマセカゴが着底後イトフケを取り、エサ取りやマダイのタナを見極めて、底や指示タナの半分の位置、さらにタナで撒く

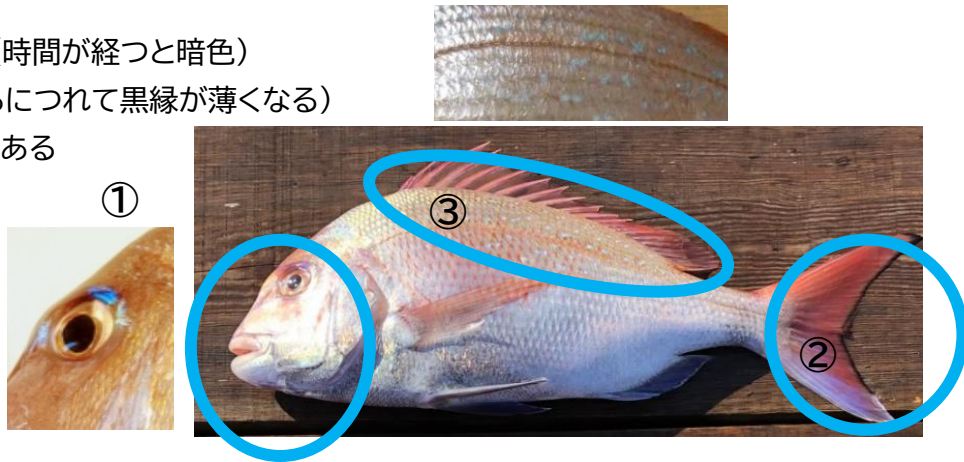
<エサ> アミコマセ、オキアミ

<仕掛け> 天秤(大)、クッションゴム、コマセカゴ、マダイ

▼見分け方[マダイ、チダイ(対象外)、キダイ(対象外)]

<マダイ>

- ① 目の上はコバルトブルー(時間が経つと暗色)
- ② 尾ビレの黒縁(大きくなるにつれて黒縁が薄くなる)
- ③ 体側に散る青い点模様がある



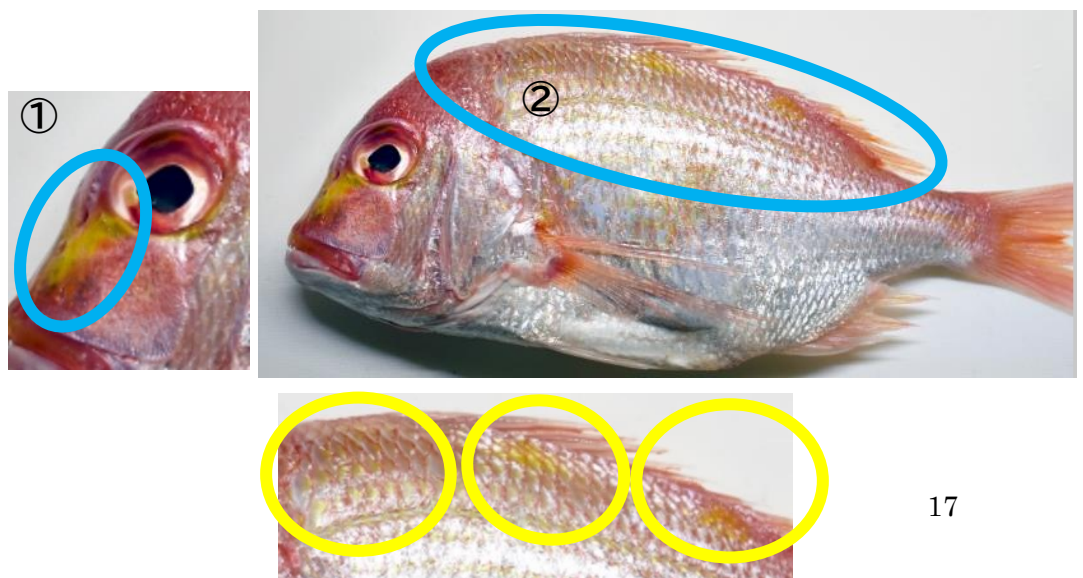
<チダイ(ハナダイ)>

- ① エラ蓋の縁が赤い(そのため血鯛とよばれている)
- ② マダイと同じく体側に散る青い点模様がある
- ③ マダイと違い尾ビレに黒い縁がない



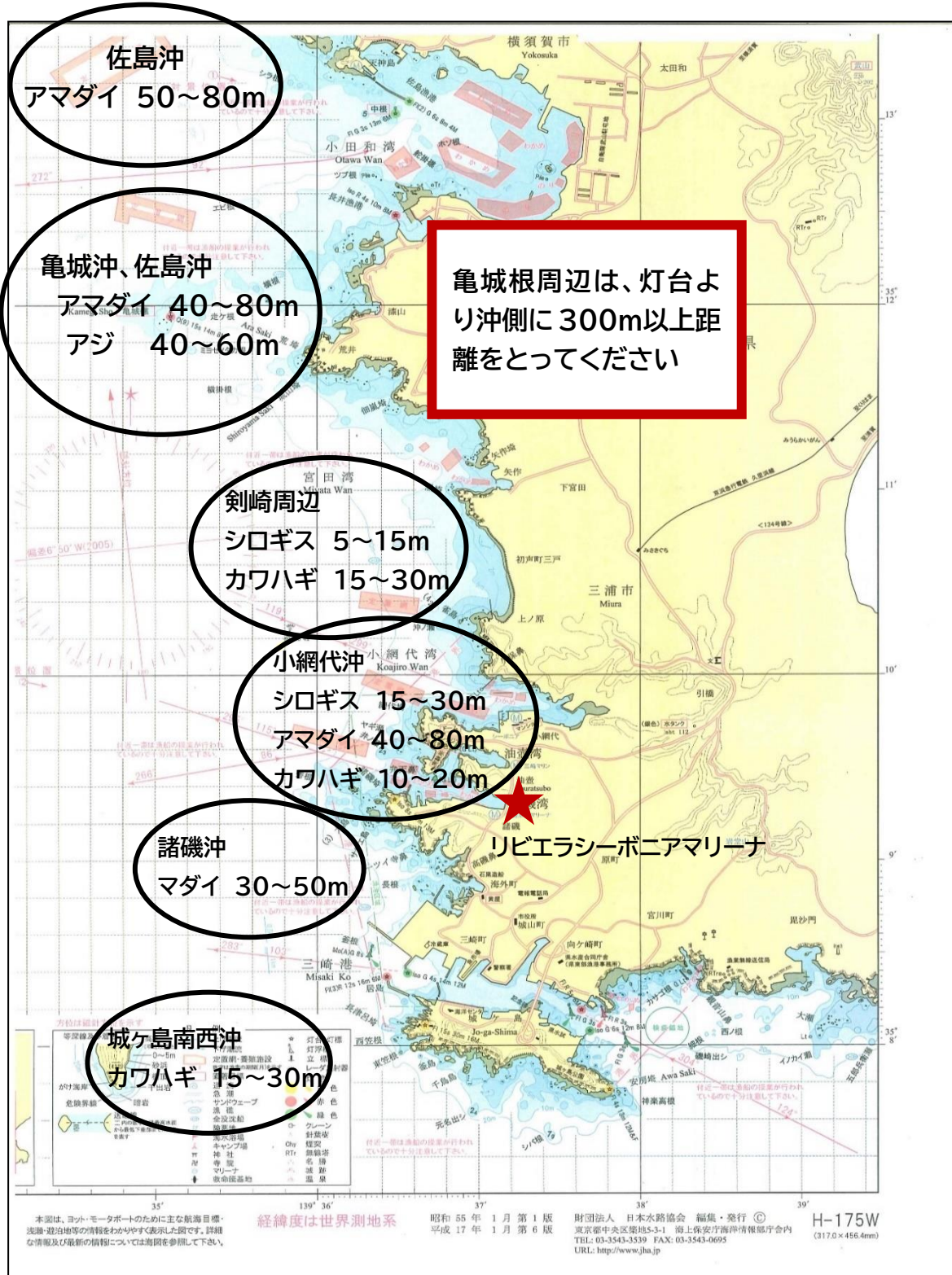
<キダイ(レンコダイ)>

- ① 目の下から鼻孔まで黄色い
- ② ヒレや体の色が全体的に黄色っぽく、体の背側に黄色の斑点が 3 つ



<ポイントマップ>

リビエラシーボニアマリーナ周辺マップ



リビエラ逗子マリーナ周辺マップ

